

令和6年2月1日

枚方市立中学校における通知表所見の検証について

枚方市中学校長会

1. はじめに

通知表所見については、社会的に業務改善の議論と相まって全国的に賛否両論拮抗している現状がある。枚方市中学校長会においても、各校長からの意見を集約した結果、所見に対し様々な観点・意見があることも明らかになった。

所見の取り扱いについては「なくす」「減らす」を望む声もあるが、そのことにより、学校のアカウンタビリティを十分に果たすことができるのかなどの疑問や、そのことにより生じるであろうデメリットについては、慎重に扱うべきで一層研究を進める必要がある。

これらのことを踏まえ、通知表所見の意義や是非については、社会背景や時代の流れも勘案しつつ、今後も検証研究を続け、枚方市中学校長会として合意した結論を出していくことが重要であると考えます。

2. 今後の検証・研究について

(1) 枚方市中学校長会として検証校を設定し、当該校において2年間研究を進める。令和7年度1学期に検証校の検証内容（令和6年度実施分）を共有して検討を進め、令和7年度内に令和8年度以降の通知表所見についての方向性を枚方市中学校長会として示す。（令和6年度も枚方市中学校長会での検討検証を継続する）

(2) 検証校（4校）

- ・「所見なし」・・・第四中学校、渚西中学校
- ・「3学期のみ記入」・・・第一中学校、枚方中学校
- ・検証校は、令和6年度実施開始後、校内外資料など検証内容について、共有・情報や意見交換する機会をもつとともに、枚方市中学校長会に適宜、その結果を報告する。

(3) 検証校以外の中学校（15校）

- ・令和6・7年度の2年間はこれまで通り、各学期末所見の記載を継続する。

(4) その他

- ・検証期間の2年間（令和6・7年度）の所見は、検証校も含めて全19中学校ともに通知表所見の取り扱いは変更しない。

	令和6年度			令和7年度			令和8年度
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期以降
検証校 所見なし	2年間所見なし			検証校での検証結果を提供			 決定した方向性で実施
検証校 3学期のみ	所見記入			所見記入			
検証校 以外の学校	各学期末とも所見記入						
中学校長会	所見検討検証ワーキング			令和8年度以降の方向性を決定			
	情報共有						